

(社) 日本薬剤学会第 34 回製剤セミナー

「医薬品のライフサイクルマネージメントー薬物療法の最適化を担う製剤技術ー」

日 時： 2009 年 7 月 13 日 (月) ～15 日 (水)

会 場： 浜名湖ロイヤルホテル (浜松市)

* 講義名・講師は予定。また、プログラムは予告なく変更されることがあります。

第 1 日目 7 月 13 日 (月)

-
- 12:00～ 受付開始・開場
- 12:50～13:00 開会挨拶 実行委員長 杉林堅次 (城西大薬)
- 【特別講演】 講演 45 分+質疑 10 分=55 分
 <座長：園部 尚>
- 13:00～13:55 有機の光で世界を照らす
 ～一人の科学者にできること～ 城戸淳二 (山形大理工)
 <座長：永井恒司>
- 13:55～14:50 Strategy for Worldwide Development of Generic Products, Opportunities for
 Harmonization of Requirements
 Paul H. Fackler (TEVA Pharmaceutical Industries)
 <座長：岡田弘晃>
- 14:50～15:45 剤形変更戦略ーライフサイクルマネージメントにおける意義と
 今後の課題ー 中上博秋 (第一三共)
- 15:45～16:00 休憩
- 16:00～17:40 Postdoctoral Presentation 5 題：講演 15 分+質疑 5 分=20 分
 <座長：今井輝子、木村 進>
 発表者 5 名
- 17:40～17:50 Postdoctoral Presentation Award 選考経緯発表および表彰式
- 17:50～18:00 各種説明・移動
- 18:00～20:00 ミキサー (交歓会)
- 20:00～21:30 談話会

第 2 日目 7 月 14 日 (火)

-
- 【特別講演】 講演 40 分+質疑 10 分=50 分
 <座長：吉野廣祐>
- 08:30～09:20 ジェネリック医薬品の役割と製剤開発 大澤 孝 (東和薬品)
- 【招待講演】 講演 30 分+質疑 15 分=45 分
 <座長：森部久二一、佐久間信至>

09:20~10:05	界面化学の医薬品製剤への応用	阿部正彦 (東京理大理工)
10:05~10:50	非晶質粉体の物理化学的性質	北村 智 (アステラス製薬)
10:50~11:00	休憩	
	<座長：三村尚志、竹内洋文>	
11:00~11:45	遺伝子医薬品開発の現状と問題点	高倉喜信 (京大院薬)
11:45~12:30	創り、造り、売りと CMC 開発研究の役割	片岡隆博 (塩野義製薬)
12:30~13:30	昼食	
	<司会：谷野忠嗣、丹羽敏幸>	
13:30~16:00	製剤技術 Q&A プレゼンテーション	
16:00~17:30	製剤技術 Q&A コーナー	
17:30~18:00	休憩	
18:00~19:00	夕食	
	【フォーラム】 紹介 10 分+各パネラーより問題提起 10 分×3+ディスカッション 60 分	
	<司会：渡辺善照、座長：長田俊治>	
19:00~20:40	社会のニーズと薬剤学教育担当者の役割	花輪剛久 (山梨大病院)、中田雄一郎 (参天製薬)、湯浅 宏 (松山大薬)

第 3 日目 7 月 15 日 (水)

【ケーススタディ】 講演 25 分+質疑 15 分=40 分

	<座長：矢田修一、尾上誠良>	
08:30~09:10	クラリス錠 200 の LCM	柳本将司 (大正製薬)
09:10~09:50	塩析効果による水溶性高分子の相変化を利用した口腔内崩壊錠用 新規マスキング技術の開発	田崎弘朗 (アステラス製薬)
09:50~10:30	キット製剤の現状と今後のトレンド	岩佐昌暢 (ニプロ)
10:30~10:45	休憩	
	<座長：宮崎靖則、並木徳之>	
10:45~11:25	リスパダール®内用液 1mg/mL 分包 (リスペリドン)	中島辰巳 (ヤンセンファーマ)
11:25~12:05	院内製剤の臨床応用	神林泰行 (筑大病院)
12:05~12:10	閉会挨拶	副委員長 板井 茂 (静岡県大薬)
12:10~13:30	昼食ならびに自由解散	